

2023

こどもエコクラブ 活動事例集



群馬県

令和5年度のこどもエコクラブ

こどもエコクラブは、幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。平成7年度の誕生以来、群馬県は今年度で28年目を迎えました。全国で2,121のクラブがあり、90,337人のこどもたちが自主的な活動に取り組んでいます。(令和5年12月31日現在)

群馬県では、令和5年度は、144クラブ、1,145人のこどもたちが、こどもエコクラブのメンバーとなり、380名のサポーターさんたちに支えられながら、それぞれの地域で特色ある活動を行いました。

コロナが5類に移行され、県内各地で環境イベントが数多く開催されました。今年度は9カ所に「群馬県こどもエコクラブ」として出展して、積極的に入会の勧誘ができました。その結果、全国で第3位のクラブ数となりました。入会された皆様大変ありがとうございました。そして、毎年の継続申請をされて、未永く続けていただけますようお願いいたします。

さて、「群馬県こどもエコクラブ」は、今年度も、夏の「学習会(おもしろ体験してみ隊)」や1月の「交流会」を楽しく盛大に開催することができました。

こどもエコクラブに参加してくれたみなさんと、支援して下さったサポーターのみなさん、そして、いつも陰で支えてくださる市町村の担当者みなさんに深く感謝いたします。

も く じ

令和5年度 県内のこどもエコクラブ紹介	1
群馬県こどもエコクラブ学習会	2
群馬県こどもエコクラブ交流会	4
活動報告	6
①イオンチアーズクラブ高崎	
②イオンチアーズクラブ太田	
③あかぎネイチャーサイエンスクラブ	
④前橋市児童文化センター 環境冒険隊	
おすすめ情報 イオンチアーズクラブ高崎より「ジオパークの見学」	14
壁新聞の紹介	15
群馬県環境サポートセンターからのおすすめ情報「動く環境教室」	21
こどもエコクラブへ登録してみませんか!	24

こどもエコクラブ(群馬県)のホームページ <https://www.pref.gunma.jp/page/6576.html>
こどもエコクラブ(全国)のホームページ <https://www.j-ecoclub.jp/>

こどもエコクラブ憲章

- 1 私たちは、生命を生み、育てくれる『水と緑の惑星・地球』を愛し、未来に引き継ぎます。
- 2 私たちは、自分たちの暮らしや身のまわりの環境に関心を持ち、地球とともに生きていくための努力を続けます。
- 3 私たちは、世界中のなかまと、手をたずさえて、地球を守るために活動を続けます。
私たちは、夢を忘れずに、夢を追い続けます。

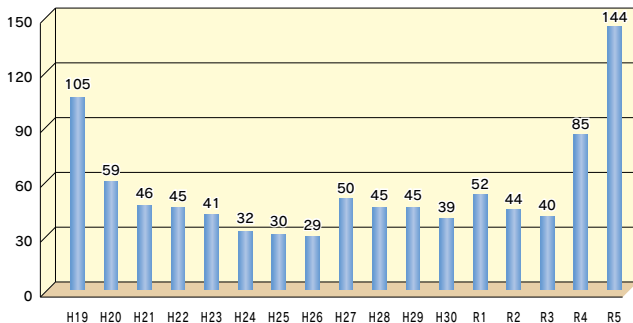
これからも、群馬県の環境を守るためにがんばっていきます!

令和5年度 県内のこどもエコクラブ紹介

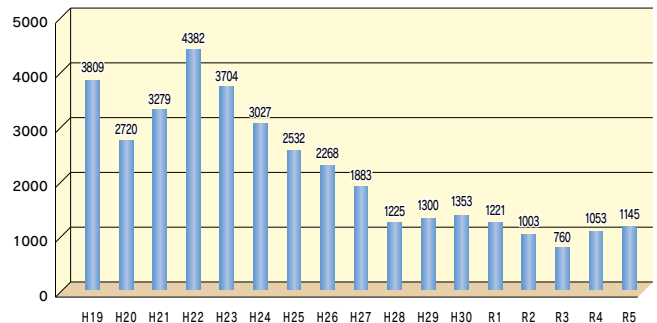
市町村	番号	クラブ名	メンバー数	市町村	番号	クラブ名	メンバー数	市町村	番号	クラブ名	メンバー数		
前橋市	1	元総社エコクラブ	7	高崎市	50	こどもエコクラブ	2	太田市	99	自然を守ろうクラブ	2		
	2	前橋市児童文化センター環境冒険隊	20		51	ゆうまクラブ	1		100	チーム堀木	3		
	3	ハンピクラブ	28		52	Naga クラブ	2		101	たけるみさきクラブ	2		
	4	元総社小学校エコクラブ	208		53	ゆうたんクラブ	1		102	あらことクラブ	2		
	5	前橋市立元総社南小学校	194		54	みずきクラブ	2		103	エコ MURO クラブ	3		
	6	前橋市立元総社北小学校	311		55	ゆずみごクラブ	2		104	みらいクラブ	2		
	7	はじまるキッズ	4		56	アディダスクラブ	3		105	ドラえもんクラブ	1		
	8	まえばしエコっ子クラブ	1		57	並櫻エコクラブ	1		106	わっちクラブ	2		
	9	まえばしちっちなエコ隊	4		58	スイカクラブ	2		107	グリーンクラブ	3		
	10	ネイチャークラブYY	1		59	なかよしクラブ2	1		108	元気もりもりクラブ	2		
	11	あかぎネイチャーサイエンス	5		60	ゆうしんクラブ	1		109	セリちゃんクラブ	1		
	12	はるゆうクラブ	2		61	たくエコクラブ	2		110	クロネコズクラブ	1		
	13	ふみふうクラブ	2		桐生市	62	チャウスこどもエコクラブ		50	111	エコ電車クラブ	1	
	14	ゆうじょうクラブ	2			63	SAKASO		2	112	プリキュアクラブ	3	
	15	BUNKYO エコクラブ	3			64	自然大好き!! クラブ		1	113	たぬちゃんクラブ	1	
	16	はるなネイチャーサイエンス	5		伊勢崎市	65	アベンジャーズ		1	沼田市	114	しらさわエコキッズクラブ	3
	17	ぎょうざクラブ	3			66	はやぶさクラブ		2		115	kodoeco	1
	18	そうちゃん 'S クラブ	2			67	P丸クラブ		2	館林市	116	大島自然たんけんたい	11
	19	かおるクラブ	2			68	メイカイクラブ		2		117	S.A クラブ	2
	20	おぜんちゅクラブ	2			69	にこにこクラブ		2	渋川市	118	ハルトクラブ	1
高崎市	21	イオンチアーズクラブ高崎	27	70		大福クラブ	2	119	アビークラブ		1		
	22	ドロップイン	2	71		make クラブ	2	藤岡市	120	ぐんちゃんチーム	2		
	23	つぶちゃんず	2	72		はるみっちいぼんクラブ	2		121	ぐんまふじおかこどもエコクラブ	2		
	24	地球レンジャー☆クラブ	1	73		カービークラブ	2		122	のぶきっず	1		
	25	スキホココラブ	2	74		りほごクラブ	2		123	りあクラブ	2		
	26	ぼんちゃんクラブ	2	75	ポップコーンクラブ	2	124	ほしクラブ	2				
	27	仲良しクラブ	1	76	にこにこクラブ	2	安中市	125	TKT	2			
	28	とけいやさんクラブ	3	77	かほクラブ	3		126	ちわわんクラブ	3			
	29	金沢ファミリークラブ	1	78	のいちごクラブ	3		127	しつがいぎクラブ	2			
	30	Mao's クラブ	1	79	でんしゃクラブ	1		128	Nagai クラブ	2			
	31	チーム悠陽	2	太田市	80	イオンチアーズクラブ太田		25	129	モコちゃんクラブ	3		
	32	E.T エコクラブ	1		81	りおクラブ		1	130	ピーチクラブ	1		
	33	3年ひろさわぐみ	3		82	ecofamily		2	131	こはたまクラブ	2		
	34	リスクラブ	2		83	K.A.U クラブ	3	みどり市	132	地球防衛隊みどり支部	2		
	35	みおクラブ	1		84	りとクラブ	1		133	地球防衛軍みどり支所	3		
	36	群馬クラブ	3		85	つかさつばきクラブ	2	吉岡町	134	自然農業クラブ	1		
	37	さとうファミリー	1		86	じっけんクラブ	2		高山村	135	リースくんクラブ	1	
	38	けんこうクラブ	3		87	ワクワクチャレンジクラブ	2	千代田町		136	A&K クラブ	2	
	39	アキスーパーエコクラブ	2		88	Yuiny クラブ	1		137	?クラブ	1		
	40	Nakajima クラブ	1		89	なかよしクラブ	3	大泉町	138	パキケファロサウルス	2		
	41	マキンチクラブ	2	90	関川家クラブ	2	邑楽町		139	地球を守ろうクラブ	2		
	42	ストロベリークラブ	1	91	ゆうやクラブ	1		140	ポムクロクラブ	1			
	43	まいまいクラブ	2	92	いきものせいかつクラブ	1		141	ひなたけクラブ	2			
	44	自然クラブ	2	93	大谷家クラブ	1		142	ひょっとこクラブ	2			
	45	いちごクラブ	2	94	ゆうひクラブ	2		143	おかめクラブ	1			
	46	かなゆずクラブ	2	95	大谷家クラブ	1		144	ひょっとこクラブ	2			
	47	まきごクラブ	2	96	flower クラブ	3	合計：144 クラブ メンバー数：1145 名 (令和5年12月31日現在)						
	48	さくらいクラブ	3	97	あきそうけんちゃん成長記録クラブ	2							
	49	たいみー	2	98	かほふーかクラブ	2							

群馬県内のこどもエコクラブの変遷

クラブ数



メンバー数



群馬県こどもエコクラブ学習会

令和5年度

「おもしろ体験してみ隊」開催!

令和5年9月2日(土) 北毛青少年自然の家

9月2日(土)北毛青少年自然の家を会場に群馬県こどもエコクラブ学習会「おもしろ体験してみ隊」が開催されました。今年は6つのクラブのメンバー44名とサポーター15名、事務局10名、計69名が参加しました。

開会行事では県環境政策課水澤課長のあいさつのあと、前橋市児童文化センター環境冒険隊の板東拓見さんと深代光咲子さんが学習会にのぞむ気持ちを発表してくれました。

午前中は植物ウォッチングラリーを実施しました。出発式で各班のリーダーと副リーダーが紹介されたあと6つのグループに分かれてそれぞれのスタート地点から出発しました。森の中で、木肌の特徴を感じたり、木の断面を調べたり、葉の持つ独特なおい当てをしたり、その他たくさんの植物ゲームや観察をしたりして楽しみました。「街とは違った植物が観察できた。」と感想を発表してくれたメンバーもいました。

午後は紙ブーメランづくりを行いました。施設の先生が楽しくていねいに教えてくださり、サポーターのアシストもありメンバーは楽しく製作に取り組みました。

大切な羽の角度を決めるところは、サポーターの皆さんが付きっきりでメンバーの面倒を見てくれました。羽の端に1cmの切り込みを入れ、3枚を組み合わせ、120°で固定し色を付けました。その後、体育館で紙ブーメランを飛ばしました。上手に調整ができた紙ブーメランはすごくよく飛んでいました。

子ども達は森の中での自然とのふれあいや紙ブーメランづくりを通して自然の大切さを感じたり、科学の力を学んだりしながら素晴らしい体験ができました。



水澤課長あいさつ



メンバー代表あいさつ



サポーターのみなさん



途中、森の中で数々の植物にちなんだクイズやビンゴゲームを行いながら森の植物とのふれあいを楽しみました。

ラリー終了後体育館でビンゴの答え合わせとオオバコのスジでスジ相撲も行いました。



紙ブーメラン

全員上手に作って飛ばしました。



北毛職員の方が分かりやすく教えてくれました。サポーターの方々も大活躍でした。



柴田会長閉会のあいさつ



群馬県こどもエコクラブ交流会

令和6年1月13日(土) 前橋市児童文化センター

前橋市児童文化センターにて「第28回群馬県こどもエコクラブ交流会」を無事に開催することができました。

今年度は5クラブと前橋市立芳賀小学校緑の少年団、サポーター、事務局が参加し、ステージ発表、壁新聞の展示・見学、環境教室でSDGsや再生エネルギーについて体験的に学習しました。

プログラム

- 1 開会行事
- 2 活動発表
 - ①はるなネイチャーサイエンスクラブ (前橋市)
 - ②あかぎネイチャーサイエンスクラブ (前橋市)
 - ③イオンチアーズクラブ高崎 (高崎市)
 - ④イオンチアーズクラブ太田 (太田市)
 - ⑤前橋市児童文化センター 環境冒険隊 (前橋市)
 - ⑥前橋市立芳賀小学校 緑の少年団 (前橋市)
- 3 壁新聞の展示・見学 壁新聞5クラブ
 - ・イオンチアーズクラブ高崎
 - ・前橋市児童文化センター 環境冒険隊
 - ・イオンチアーズクラブ太田
 - ・あかぎネイチャーサイエンスクラブ
 - ・はるなネイチャーサイエンスクラブ
- 4 環境教室
 - ①SDGs ってなあに?
 - ②発電から地球温暖化を考えよう
- 5 閉会行事 こどもエコクラブ憲章の宣言

開会行事

水澤
環境政策課長
あいさつ



司会の3人 活動発表を盛り上げてくれた
深代さんと岡野さん尾間さん

活動発表

今年は、児童文化センター環境冒険隊の深代光咲子さんと岡野晃大さん、尾間菜帆さんの大変上手な司会進行で、発表会がスムーズに進行されました。各クラブ・緑の少年団とも1年間の活動を映像と解説で、会場のみんなにしっかりと伝えることができました。



はるなネイチャー
サイエンスクラブ



あかぎネイチャー
サイエンスクラブ



イオンチアーズクラブ高崎



イオンチアーズクラブ太田



前橋市児童文化センター
環境冒険隊



前橋市立芳賀小学校緑の少年団

壁新聞の展示

イオンチアーズクラブ高崎、児童文化センター環境冒険隊、イオンチアーズクラブ太田、あかぎネイチャーサイエンスクラブ、はるなネイチャーサイエンスクラブの5クラブが参加しました。どれも大変素晴らしい内容でした。



環境教室

「SDGsってなあに？」「発電から地球温暖化を考えよう」展示

SDGsの目標について学んだあとに群馬県オリジナルのSDGsカルタ取りをして深く目標に迫ったり、再エネ発電の体験を通して地球温暖化についてみんなで考えました。



SDGsカルタ取り



SDGsの目標の内容を発表



風力発電の体験



水力発電の体験

活動報告

イオンチアーズクラブ高崎

メンバー数 :26 名 サポーター人数 7 名



7月31日(月)
間伐材を利用したスプーン、
フォーク作りを体験しました。
自分たちが作成した愛着ある
作品は大切に使用します。

5月21日(日) 開始式&イオンの周りのクリーン活動

リサイクルできるペットボトルやアルミ缶も落ちていた。



6月3日(土) 高崎市環境フェア見学

群馬県の廃棄食品排出量が全国ワースト6位だった。

クイズや実験を通じて身近なエコの取り組みが学べた。



9月2日(土) おもしろ探検してみ隊

自然体験を通して様々な発見ができました。



7月31日(月)～8月2日(水) チアーズクラブ全国大会へ参加

環境についてまとめた壁新聞の表示がされ、たくさんのメンバーと意見交換や私たちにできることを学んできました。北海道で持続的に暮らすために進められている取り組み「酪農」やジオパークなどを見学しました。



10月22日(日) みなかみユネスコエコパーク矢瀬マイクロ水力発電所見学と リンゴ狩り

水力発電の取水は湧水で上水道施設の余剰(水)を利用し一日8キロワットの発電を賄っているそうです。



11月12日(日) イオン周辺のクリーン活動とエコアイデアの実践



<一年を振り返って>

活動で足を運んだ高崎市、高山村、みなかみ町、北海道では各地域に応じた自然を守り、環境に配慮した暮らしを学習しました。様々な活動を通して、今私たちができるエコ活動を各自で考えてもらいました。周りの人たちにも伝え広めていけるような活動に繋がれたと思います。今後も様々な活動を体験し、各自ができることを考えていけるように取り組んでまいります。

活動報告

イオンチアーズクラブ太田

メンバー数 :25 名 サポーター数 2 名



地域の小学生、
中学生のメンバーを
対象に環境について
学んでいます。

- 4月 開始式 去年の壁新聞をメンバーやお母さんたちの前で発表しました。
足尾植樹 春の植樹デーに参加して一人2本の苗木を山に植えてきました。
5月 植物観察と収穫 今年は、なすやピーマン、ジャガイモ、サツマイモを植えました。



コンポストづくり



イオンモール太田のまわりの ゴミ拾い

- 6月 おうちの食品ロスやトップバリュの取り組みを調べました。
7月 フードバンク訪問「フードバンク太田」にお話を聞きに行きました。



企業、慈善団体、個人から賞味期限2ヶ月ある食べ物を寄付していただき、生活に困っている方にお渡しする活動をしているそうです。

- 8月 AGF工場見学や24時間テレビ募金をしました。
首里城復興支援募金用ポスターも描きました。



4年ぶりにお店の入口で募金の声かけをしました。
たくさんの方が協力してくださいました。

9月 おもしろ体験してみ隊 金山清掃

たくさんの団体の人たちと一緒にしました。たばこの吸い殻やビニールごみなどが落ちていました。



10月 イオン生き物調査

バイオームのアプリを使って、イオンのまわりの生き物を調べました。写真を撮って投稿すると、レア度が分かります。



みなかみユネスコパーク

リンゴ狩りやマイクロ水力発電所の見学をしました。



11月 サツマイモ掘り

サツマイモの茎は家に持ち帰り、炒めて食べました。サツマイモのツルでリースを作りました。



イオン群馬フェアに参加

みなかみユネスコパークの人と一緒に、間伐材で作るストラップづくりのブースを担当しました。また、みなかみユネスコパークの人と共同発表もしました。



< 一年を振り返って >

食品ロスへらそうのテーマを中心に、いろいろな活動をしました。野菜を育てたり、コンポストを作ったり、イオンのお店調べをしたり、北毛青少年自然の家での植物ビンゴゲーム、みなかみについての学習など、幅広い活動ができたと思います。

あかぎネイチャーサイエンスクラブ

メンバー数5名 サポーター数6名

4月1・2日 国立赤城青少年交流の家

- ・自然観察キャンプ、川の清掃活動。
- ・グループワークで森をどうしていきたいか話し合った。

4月22日 国立赤城青少年交流の家

- ・自然観察、川の清掃活動
- ・川の掃除中に虫を見つけ観察できてうれしかった。

5月3・4日 国立赤城青少年交流の家

- ・ウォークラリーしながら森の観察をした。
- ・暖かくなり風が気持ちよかった。

5月13・14日 国立赤城青少年交流の家

- ・森の探検をした。森が緑に変わりキレイだった。

6月10日 長七郎山

- ・登山をしながら自然観察した。
- ・いつも活動している所と木の種類が違うように感じた。

7月1日 地藏岳

- ・登山しながら自然、生き物観察した。
- ・頂上はとても涼しかった。

7月16・17日 国立赤城青少年交流の家

- ・自然観察しながら森を探検した。
- ・夏になったので森から虫の声がした。
- ・セミの脱け殻をたくさん集めた。

7月22・23日 黒檜山

- ・黒檜山に登った。
- ・至る所に竹が生えていて杉ばかりの青少年交流の家とは景色が違った。

9月24日 赤城ヒルクライム参加

- ・赤城山を自転車で登ってみた。
- ・完走できてよかった。

自然大好きな
小学4年生がキャンプや
野外活動を通して
探究学習しています。



10月14～15日 国立赤城青少年交流の家

- 薪を自分で切って火を起し焼きいも作りをした。
- 自然にあるもの(落ち葉など)を集めてインクを作り、デザインを自分で考えてエコバックを作った。



11月23日 国立赤城青少年交流の家

- 火起し体験。森の中にあつたいろいろな種類の葉や枝を集めて燃やしてみた。杉の葉はすぐによく燃え、竹ははねて大きな音がした。煙は空に立ちのぼり横には広がらない、火が燃えている近く・地面近くには煙はないことがわかった。学校の避難訓練を思い出した。



12月16日 国立赤城青少年交流の家

- 赤城山の土にマイクロプラスチックはあるのか?
- 土と水をペットボトルに入れよく混ぜ、分離するのを待ちプラスチックが浮かるか?実験をした。マイクロまで小さな物はわからなかったがメソプラスチック(5mm～5cm)は見つかった。違う場所の土も調べてみようと思う。



< 一年を振り返って >

赤城山登山やキャンプ、自然や生き物観察、山の土にはマイクロプラスチックがあるのか?調査を始めたりと充実した1年でした。引き続きみんなで楽しく!活動できたらと思います。

前橋市児童文化センター環境冒険隊活動報告

メンバー数：20人 サポーター数：2人

<今年度の活動概要>

隊員数	20名(小学校4年～6年)	
年間活動日数	18日間	
活動実施場所	前橋市児童文化センター	県立勢多農林高等学校
	赤城白川(箕輪)	県立北毛青少年自然の家
	赤城山(覚満淵・長七郎山・鳥居峠)	
	県立ぐんま昆虫の森	
・移動方法	児童文化センター所有のバス	
・会費	無料	

環境冒険隊は
環境調査や自然観察が
大好きです。
身近な環境についてたくさんの
ことを学びました。

1 入隊式・オリエンテーション(4月22日)

- ・講師の鈴木先生に「自然の調べ方I」についてお話を頂きました。「自然は見えないけれど、生き物を通して自然を見る」と聞いてなるほどと納得しました。続いて、生き物の生息数が増減しながらも保たれていることをゲームを通して理解しました。
- ・講師の渡邊先生に「自然の調べ方II」として、は虫類、哺乳類、鳥類、両生類を実際に連れてきてふれあう体験をさせて頂きました。



環境学習会

2 自然に親しもう(5月13日)

- ・まず森の中を目指して土の道を歩き、道を外れて落ち葉の上を歩き、生き物が住みやすい環境を足裏で感じました。
- ・続いて池や小川に向かいました。水辺にはシオカラトンボが飛んでいました。足下を見ると白いはんぺんのような物があり、よく見ると薄い黄色の小さな粒がありました。講師が、シュレーゲルアオガエルの卵だと教えてくれました。
- ・原っぱで「オオバコ選手権(草相撲)」や「コウモリとガ(ゲーム)」をし、雨が降り出しそうになったので建物の中に入り昆虫の展示や温室の植物等のクイズラリーをして楽しみながら学習をしました。



自然観察(ぐんま昆虫の森)

3 貴重な生物を守る技術を知ろう(5月20日)

- ・鬼石の寒桜を切り口として、サクラに広がる病害虫による被害と保護についての活動の様子をスライドで見せていただき、植物の保護活動の重要性を学びました。
- ・2班に分かれて1ドラフトでのモウセンゴケの培養、2寒天培地のpH調整と作成を体験しました。
- ・バイオクラブの生徒のみなさんが取り組んでいる神流町の伝統野菜「あかじゃが」の保存と普及に関する研究の発表を聞かせていただきました。



環境学習会(勢多農林高)

4 水生生物で山の川の水質を調べよう(7月22日)

- ・講師から水生生物の見つけ方と捕獲の仕方を丁寧に教えていただきました。網を川の下流に据えて置き、石をどかしたり足で砂利をかき混ぜたりして流れてきた生物を集めました。見たこともない、ちょっと手で触るのもいやな感じのする生物もたくさん捕れました。
- ・採取した水生生物のうち水質判定に使える指標生物の数は次のとおりでした。カワゲラ類約40匹、サワガニ9匹、ヘビトンボ13匹、ナミウズムシ1匹となりました。これらの生物から赤城白川の水質は「水質階級」のきれいな水ということが分かりました。



環境調査 (赤城白川)

5 赤城山の自然を調べよう(10月14日)

- ・「赤城山の自然を調べよう」をテーマに、小沼→長七郎→鳥居峠→覚満淵の順で、植物や地形などを観察しながら回りました。赤城山にはミズナラが多く、葉は楕円形で葉と茎をつなぐところがなく葉が重なり合っているのが特徴です。葉の縁は大型のギザギザがありました。
- ・頂上に着くと遠くに富士山を見ることができました。下山途中、鳥居峠からは覚満淵方向の美しい紅葉を楽しみました。
- ・覚満淵では、様々な植物を観察しました。また、鹿の食害から木々を守る工夫があることを知りました。



自然観察 (赤城山・長七郎山)

6 秋の生き物(土の中)を調べよう(11月11日)

- ・「ハンドソーティング法」で、ふるいにかけて土をカレンダーの裏紙に取り、ピンセットを使って細かくチェックしながら土壌生物を探しました。集中して取り組めたグループは、十数種類の土壌生物を見つけることができました。
- ・この土壌生物の役割は何でしょう?毎年たくさんの落ち葉があるのに、どうして落ち葉だらけにならないのでしょうか。土壌生物が落ち葉を食べて細かくしてくれ微生物がさらに分解してくれます。地球にも人間にも大切な生き物なのですね。



自然観察・環境調査 (ぐんま昆虫の森)

< 一年を振り返って >

- ・前橋市内の小学校から20名が参加
環境冒険隊の活動を通して、仲間が増えました。
- ・貴重な体験活動
学校や個人では体験できないことを数多く体験できました。
講師の方の専門性と豊富な知識で数多くのことを学びました。
- ・自然の一部
私たちは、自然の中の一部であることが分かってきました。
自然環境を守ることの大切さが分かってきました。
- ・伝える
学んだこと、考えたこと、思ったことを書き留めておきます。
学習した内容を家族や友達に伝え、知らせます。



おすすめ
情報

「ジオパークの見学」



隆起してしまった国道



噴石により倒壊してしまったお菓子工場

8月1日

2000年に大噴火を起こし、ユネスコにも認定された北海道の洞爺湖有珠山ジオパークを見学しました。ジオパークは、わたしたちがくらす地球の活動を記録する貴重な岩石や地形などの「遺産」を守り、これからの未来に伝えていくための「活動」を行っている地域のことです。ジオパークでは地域住民が主体となって経験や知恵を出し合って未来に向けての行動、持続可能な社会の実現を目指しています。有珠山の噴火や噴石跡を見学し自然の脅威と「火山との共生」の考えを学びました。有珠山の与えてくれる温泉、農産物、自然景観などの恵みももたらしてくれています。



群馬県にも下仁田ジオパークと浅間山北麓ジオパークがあります。

下仁田ジオパークは独自の地形を利用した産業や世界遺産荒船風穴などがエリア内にあり、2022年9月に見学しました。

浅間山麓ジオパークは浅間山の火山活動で地域社会が破壊され、地域の人々の努力により再生をしてきた地です。

今後見学できると良いと思います。

自然を知り守り共生し、持続可能な社会に向けてどのように行動したら良いか考えることができる活動でした。

情報提供クラブ：イオンチアーズクラブ高崎

壁新聞を紹介します！

群馬県こどもエコクラブ事務局に寄せられた壁新聞絵を紹介します。
2023年度こどもエコクラブ「全国エコ活コンクール」の
壁新聞部門に、この中の3点を応募しました。



イオンチアーズクラブ太田



前橋市児童文化センター環境冒険隊

令和5年度 前橋市児童文化センター 環境冒険隊 ～活動報告～

【4月22日】 入隊式・オリエンテーション

「自然の調べ方」
・自然探検隊のメンバーと、水生生物を通して自然を探究する活動を行いました。
・自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。

【5月13日】 自然観察

・高学年児童が自然観察を行いました。水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。
・高学年児童が自然観察を行いました。水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。

【5月20日】 水生生物を守り、技術を学ぶ

・水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。
・水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。

【6月3日】 昆虫観察

・グループで昆虫観察を行いました。水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。
・グループで昆虫観察を行いました。水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。

【6月24日】 水中の微生物を観察し、図を

・水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。
・水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。

【7月22日】 水生生物で山の川の水質を調べよう

・水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。
・水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。

【9月9日】 水生生物

・水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。
・水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。

【10月15日】 赤山の自然観察

・赤山の自然観察を行いました。水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。
・赤山の自然観察を行いました。水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。

【10月29日】 活動、紙いすい、昆虫の生態

・活動、紙いすい、昆虫の生態を行いました。水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。
・活動、紙いすい、昆虫の生態を行いました。水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。

【11月11日】 秋、物(土の中)を調べよう

・秋、物(土の中)を調べようを行いました。水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。
・秋、物(土の中)を調べようを行いました。水生生物の観察と、自然の調べ方、観察、水生生物をテーマにした観察活動を行いました。

●環境冒険隊の活動を通して知識が増えました
●学校や個人では体験できない体験ができました
●講師の方の専門的で数多くのことを学びました
●私たちは、自然の中の一員であることが分かってきました
●自然環境を守ることの大切さが分かってきました
●学んだこと、考えたこと、思ったことを書き留めておきます
●学習した内容を家庭や友達に伝え、知らしめます



イオンチアーズクラブ高崎

食と食品ロス・環境について学んだこと イオンチアーズクラブ高崎 2023

群馬県の人1人当たりの排出量(令和2年度)

全国平均	901g
群馬県平均	990g

9.2倍



食品ロスの現状

食品ロスの約半分は家庭から捨てられた理由

理由	改善案
1位 食べられなかった	① 買い物は使う分だけ ② 食べきる量を作る
2位 捨ててしまった	③ 買い物時に冷蔵庫をチェック ① 最適な保存場所へ置く ② 必要なだけ買う ③ 下処理をする(冷凍・乾燥等)
3位 賞味・消費期限がある	① 残っている食材から先に使う ② 定期的に冷蔵庫の在庫を確認する

ゴミは減らしたい!

食品ロスのお金を返すことと同じです



多くは私の活動を通して環境について学びました

今日から始めよう! 食品ロスを減らすために

わたしたちひとりひとりが行動を起こすことが大切です!

5月2日 開始式・クリーン活動

9月2日 おもしろ探検してみ隊

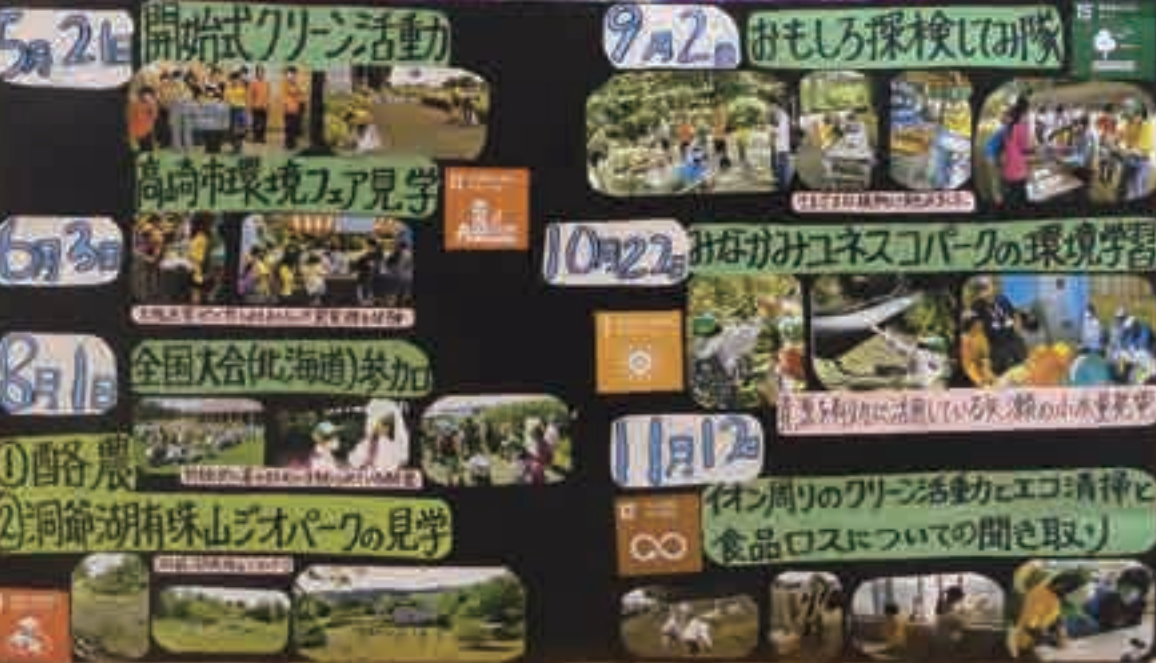
6月3日 高崎市環境フェア見学

10月22日 おながみユネスコパークの環境学習

8月1日 全国大会(北海道)参加

11月2日 イオン周りのクリーン活動とエコ清掃と食品ロスについての聞き取り

① 酪農 ② 洞爺湖有珠山ジオパークの見学




はるなネイチャーサイエンスクラブ

はるなネイチャーサイエンス 里山とホテル

(里山とは?)

里山とは農地、ため池、森林

草原などのタテマタな自然環境を
有する地域で自然と都市との中間に
位置し、国土の半割は里山だという。

里山は特有の生物の生息、生育
環境として重要な役割をこなしている。

里山は人と動物が
生活する場所を分ける
役割をはたしている

人の手が加えられなくなると...

身近な自然である里山
の環境を作り守ってきた
のが人間なので
それを表しているのは人間の手
でできなくなったものは、

- ・ やみ草が増えてしまい人の生活圏に
動物が侵入しやすくなる
- ・ 土壌が悪化し、台風や大雨の時に
水を吸収しにくくなり土砂崩れなどが
おこりやすくなる。

小川を整備してホテルが沢山生息する環境づくり

1st 池水を枯れたい竹や藻類を
取り除き小川の流れを良くしました。

花や花からの散水後
はじめて雨を降らせた日
幼虫が湧きだして来た。

1回目 20匹
2回目 30匹程度確認でき
ました。

2月上旬～3月上旬



4月上旬



6月中旬



1年かかるとは思いますが、小さな事で少しづつ、いいことだと思います。豊かな
里山、人と自然、動物が共存できる世界を目指して少しでも役に立てるよう
はるなネイチャーサイエンスは活動していきます。お願いします。



あかぎネイチャーサイエンスクラブ

あ か ぎ ネ イ チ ャ ー
2023 サ イ エ ン ス

活動報告

高尾山で楽しむ自然観察



高尾山で楽しむ自然観察
高尾山は、東京都の自然豊かな山です。ここでは、様々な動植物を観察することができます。観察のポイントを紹介します。

観察のポイント
1. 高尾山の自然環境
2. 高尾山の動植物

この活動は、高尾山の自然環境を学ぶためのものです。観察のポイントを紹介します。

高尾山の自然環境



高尾山の自然環境
高尾山は、東京都の自然豊かな山です。ここでは、様々な動植物を観察することができます。観察のポイントを紹介します。

観察のポイント
1. 高尾山の自然環境
2. 高尾山の動植物



高い山での体の変化を調べる



高い山での体の変化を調べる
高尾山は、東京都の自然豊かな山です。ここでは、様々な動植物を観察することができます。観察のポイントを紹介します。

観察のポイント
1. 高尾山の自然環境
2. 高尾山の動植物

高尾山の自然環境



高尾山の自然環境
高尾山は、東京都の自然豊かな山です。ここでは、様々な動植物を観察することができます。観察のポイントを紹介します。

観察のポイント
1. 高尾山の自然環境
2. 高尾山の動植物

高尾山の自然環境



高尾山の自然環境
高尾山は、東京都の自然豊かな山です。ここでは、様々な動植物を観察することができます。観察のポイントを紹介します。

観察のポイント
1. 高尾山の自然環境
2. 高尾山の動植物



群馬県環境サポートセンターからの

おすすめ情報

県内の小中学校で活躍するエコムーブ号

「動く環境教室」エコムーブ号



動く環境教室とは

動く環境教室は、県に登録した環境学習サポーターが、直接学校等に出向き、エコムーブ号に搭載している教材教具などを使って、環境学習をサポートします。料金は、無料です。環境教室の実施に必要な物品は環境サポートセンターで用意します。

希望する県内どこの小中学校にもお伺いします。

動く環境教室のホームページにて

<https://www.pref.gunma.jp/site/eco/501724.html>

予約状況を公開しています。

また、実施依頼書や教材のダウンロードもできます。



詳しくはホームページで！ 4月から申し込み受付開始！

▼ プログラムは7つ用意しています

「問題に向けて実験を行い、実験結果をもとに自分の生活を振り返る」という授業形態で実施します。

テーマ1 「家庭から出る水のごみを調べてみよう(小3~小5程度)」

テーマ2 「川や池の水質を調べてみよう(小6~中学生程度)」

テーマ3 **現在更新中**

テーマ4 「ごみは大切な資源(小3~小5程度)」

テーマ5 「リサイクルについて考えよう(小6~中学生程度)」

テーマ6 「省エネ電球で地球温暖化について考えてみよう(小3~小5程度)」

テーマ7 「発電から地球温暖化について調べてみよう(小6~中学生程度)」

テーマ8 「SDGs ってなあに?(小4~小6程度)」

※特典:受講された学校にはSDGsカルタ3組を差し上げます。

▼ 動く環境教室の実施形態

- ・特別教室等で2時間を使って2つのプログラムを実施しています。
(1プログラムを希望の場合はご相談ください。)
- ・エコムーブ号は県庁から出発しますので、3校時以降の実施時間をお願いしています。
各プログラムは小学校45分間、中学校50分間で実施しますので、授業時間の確保をお願いします。
- ・35人以上の場合は、2グループに分けて授業を実施します。
7つのプログラムから2つ選択(ただし(1)と(2)、(3)と(4)の組み合わせは選択できません)し、前半と後半でクラスが入れ替わるのが一般的です。
70人以上の場合は、2日間に分けてください。
各プログラムの1回の授業人数は35人以下を想定しています。

ご利用方法

▼ 予約:まず、環境サポートセンターまでお電話ください。

実施可能日はホームページ内の予約一覧をご覧ください。なお、すべての月曜日は準備日です。
当日指導する環境学習サポーターの日程調整があるため、1ヶ月前までに予約をお願いします。

▼ 実施依頼:プログラム

開催時間などが決定しましたら添付の依頼書にてFAX等で申し込んで下さい。

申込み、問い合わせ先

群馬県環境政策課(環境サポートセンター)

電話:027-226-2827 FAX:027-223-0154

E-mail:ecosusumu@pref.gunma.lg.jp

▼ 授業の概要の紹介

次のページに7つのテーマからテーマ1について、授業の概要を紹介します。

分野：私たちの生活と水問題

テーマ1 「家庭から出る水のごみを調べてみよう（小3～小5程度）」

(1) ねらい

・自分たちの生活と環境問題へのつながりを意識づけ、環境に対する負荷を減らそうとする意欲を育てる。

【関・意・態】

・醤油・スポーツドリンク・牛乳が排水として川に流れ込むと川の水質をよごす原因となることを実験を通して知る。

【知・理・技】



(2) 実験（追求）

①醤油・スポーツドリンク・牛乳の拭き取ったものとそうでないものの汚れ具合を1人2本のパックテストを使い（COD）調べる。

②パックテストの結果から、それぞれの汚れ具合を知る。



(3) まとめ

実験結果から考えて、川を汚さないために自分たちのできることを考える。

授業の概要はこちらから
動画でご覧いただけます。



こどもエコクラブへ登録してみませんか？

群馬県こどもエコクラブ事務局
(群馬県環境政策課)

「こどもエコクラブ」って何？

こどもと大人で誰でも参加できる全国組織の環境活動クラブです。29年の歴史があり、現在は(公財)日本環境協会が主催し、環境省が後援、群馬県も地域事務局としてクラブの活動を支援しています。活動は、自然観察や調査、ゴミ拾い、リサイクル活動など、自分たちのできる身近な環境活動に取り組めばよいのです。



エコまるとぐんまちゃん

こどもエコクラブの活動

- こども（メンバー）1人と、大人（サポーター）1人から始められます。
 - 環境に関心のある家族や地域団体、公民館や学校での取り組み等*があります。
- *クラブ・委員会活動、学年、PTA、育成会、少年団、ボーイスカウト、児童館活動 etc.

登録のメリット

代表的なメリットをあげてみました。

- 環境問題への意識や意欲を高めることができます。
- 活動に役立つツールがもらえる。(メンバーズバッジなど)
- メンバーやサポーターは登録後に「賠償責任保険」の対象になります。
- 学習会や交流会、発表会等の情報が得られます。

登録の方法

次のどの方法でもできます。

- ホームページ上で登録する。(https://www.j-ecoclub.jp/club_entry/)
- ホームページから登録用紙をダウンロードし、メールかファックス、郵便で送る。
- 県や市町村の環境担当窓口で直接申し込む。

くわしくはこどもエコクラブ全国事務局のホームページをご覧ください



<https://www.j-ecoclub.jp/>

※群馬県のこどもエコクラブ運営について、ご不明な点等ございましたら、下記へお問い合わせください。

群馬県 環境政策課 こどもエコクラブ担当
TEL.027-226-2827 FAX.027-223-0154

令和5年度 市町村事務局一覽

市 町 村	担 当 課	担 当 係	電 話	F A X
前 橋 市	環 境 政 策 課	G X 戦 略 係	027-898-6292	027-223-8524
高 崎 市	環 境 政 策 課	環 境 企 画 担 当	027-321-1251	027-321-1161
桐 生 市	環 境 課	環 境 都 市 推 進 係	0277-46-1111 (内線575)	0277-43-1001
伊 勢 崎 市	環 境 政 策 課	環 境 企 画 係	0270-27-2733	0270-24-5253
太 田 市	環 境 政 策 課	環 境 保 全 係	0276-47-1893	0276-47-1881
沼 田 市	環 境 課	環 境 係	0278-23-2111 (内線3072)	0278-20-1501
館 林 市	地 球 環 境 課	環 境 政 策 係	0276-47-5124	0276-72-3297
渋 川 市	環 境 課	環 境 政 策 係	0279-22-2114	0279-24-6541
藤 岡 市	環 境 課	環 境 企 画 係	0274-40-2264	0274-24-9268
富 岡 市	環 境 保 全 課	生 活 環 境 係	0274-62-2823	0274-62-2339
安 中 市	環 境 政 策 課	環 境 推 進 係	027-329-5713 (内線1883)	027-381-2783
み どり 市	生 活 環 境 課	環 境 政 策 係	0277-76-2111 (代表)	0277-76-9813
榛 東 村	住 民 生 活 課	環 境 衛 生 係	0279-54-2211 (内線122)	0279-54-8225
上 野 村	保 健 福 祉 課	環 境 衛 生 係	0274-59-2309	0274-59-2320
下 仁 田 町	保 健 環 境 課	環 境 係	0274-82-5490	0274-70-3013
片 品 村	農 林 建 設 課	環 境 衛 生 係	0278-58-2114	0278-58-2110
川 場 村	むらづくり振興課	森 林 環 境 係	0278-52-2111	0278-52-2333
昭 和 村	産 業 課	産 業 振 興 係	0278-24-5111 (内線151)	0278-24-5254
み な か み 町	生 活 水 道 課	環 境 政 策 係	0278-25-5003	0278-20-2003
大 泉 町	環 境 整 備 課	環 境 係	0276-63-3111 (内線562)	0276-63-3921

※表にない市町村では、環境担当窓口におたずねください。



「エコまる」と「がんばりアースクラブ」は、こどもエコクラブのイメージキャラクターです。



群馬県 環境森林部 環境政策課 環境政策係
こどもエコクラブ群馬県事務局

令和6年3月発行

〒371-8570

群馬県前橋市大手町一丁目1番1号

電話 027-226-2827